

**製品名: CDH1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82609**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	97.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDH1
別名	UVO; CDHE; ECAD; LCAM; Arc-1; BCDS1; CD324; E-cadherin; E cadherin
遺伝子 ID	999.0
SwissProt ID	P12830
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDH1 (AA:extra(155-354)) の精製組換え断片。

**背景**

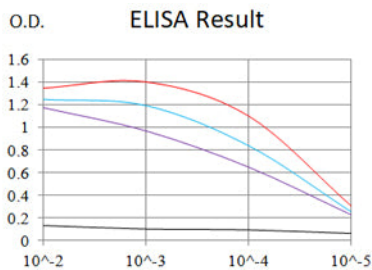
この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーに属する古典的カドヘリンをコードしています。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つは、タンパク質分解によって成熟糖タンパク質が生成されるプレプロタンパ

ク質をコードしています。このカルシウム依存性細胞間接着タンパク質は、5つの細胞外カドヘリンリピート、膜貫通領域、そして高度に保存された細胞質末端から構成されています。この遺伝子の変異は、胃がん、乳がん、大腸がん、甲状腺がん、卵巣がんと関連しています。この遺伝子の機能喪失は、増殖、浸潤、転移を増加させることで、がんの進行に寄与すると考えられています。このタンパク質の細胞外ドメインは、細菌が哺乳類細胞に接着する際に重要な役割を果たし、細胞質ドメインは細胞内への取り込みに必要です。この遺伝子は、16番染色体上でカドヘリンファミリーの他のメンバーと共に遺伝子クラスターを形成しています。

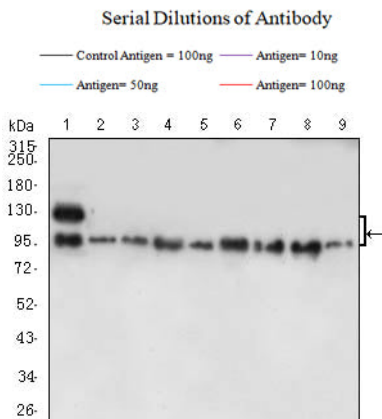
## 研究分野

TGF-βシグナル伝達経路

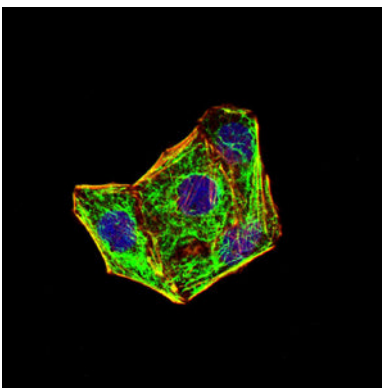
## 画像データ



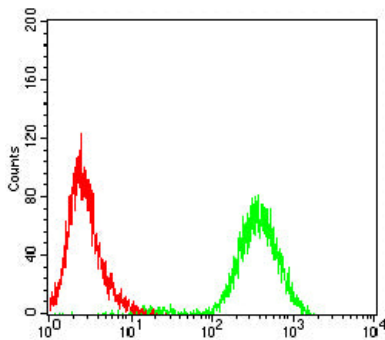
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



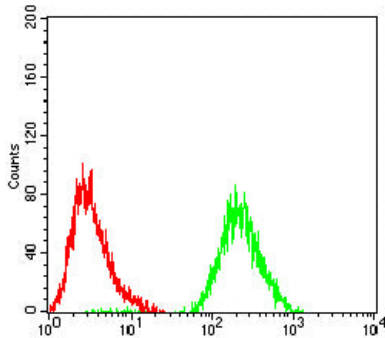
PC-3 (1)、A431 (2)、MCF-7 (3)、HT-29 (4)、HePG2 (5)、C6 (6)、A549 (7)、NIH/3T3 (8)、および C2C12 (9)細胞溶解物に対する CDH1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



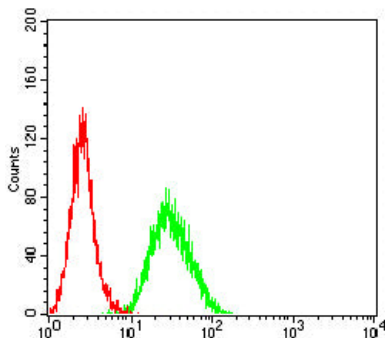
CDH1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



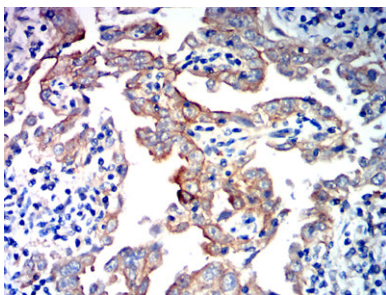
CDH1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



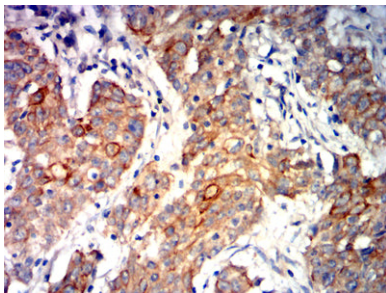
CDH1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



CDH1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HT-29 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDH1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。



CDH1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。